

令和 7 年 5 月 28 日（水）
内子分庁 3 階大会議室

内子町部活動地域移行推進連絡協議会（第 1 回）会議録

内子町教育委員会

挨拶 令和 7 年度の第 1 回部活動地域移行推進連絡協議会を開催できますことを心より感謝申し上げます。令和 6 年度より拠点校部活動を導入し、令和 8 年度より地域クラブ運営団体を設立したいと考えています。背景には、少子化による部活動の継続の困難、教師が顧問をすることは負担が大きく時代に適合しないことがあります。みなさまには当初から積極的に関わっていただき実りある議論を続けていただいています。今年度より、新しい委員も加わり、今回は今までのおさがりが中心になると思います。いつものように広域スポーツセンターから 2 名の方に来ていただいています。今回からは、県の保健体育課からも 2 名の方が来ていただいています。本日の会議が内子町のよりよい活動持続の第一歩となることを願います。

◆協議 1 昨年度までの取組概要と地域移行（第 2 期令和 8 年度～）に向けて

委員長 2 年間の取組と来年度以降の概要について説明があった。特に、新しい委員さんなど、質問などあればどうぞ。

委員 国は「地域展開」という言葉を使っているが、「移行」というと地域が中心となり指導者も地域の方、「展開」というと部活動も含まれ、教員が入ってもいいのではと思うが、どのように考えているか。

事務局 国の実行会議では、地域全体で連携して行う取組の名称を「地域移行」から「地域展開」に変更している。地域連携ではなく、地域移行を念頭においた地域展開。内子町では、「移行」という言葉で計画を立ててきた。現場の現状を見ると、完全な移行はハードルが高い面もある。国の展開の意味合いが含まれてくると感じている。以前からの制度設計段階で「移行」としていたため、使用している。

委員長 地域連携ではない。地域移行、展開という言葉はどう使うか。名称の「移行」は今後も使うのか。

事務局 しばらくは、「移行（展開）」となる。

委員 意味として、学校と連携を図っていくということでもよいのか。

委員長 学校とも地域とも連携するということ。（展開）はいるのか。地域移行でいいと思うが、あくまで目指しているのは「移行」。特に意見はないようなので、「移行」という言葉で進める。

◆協議 2 年間計画の確認

事務局 部活動地域移行推進連絡協議会を全 6 回開催予定。来年度当初予算案の関連もあるため、11 月頃には、ある程度の方向性を見出したい。

委員長 11 月に当初予算があるので、月 1 回ペースで会をさせていただくということ。プレイベントの内容、イメージなどどのようなものか。

事務局 追加資料の説明（資料 1～4）

事務局 総合スポーツ部が立川地区ニュースポーツ大会に参加した。生徒も積極的に参加し、審判も堂々と務めていた。立川自治会も喜んでいただき、来年も来てほしいと

の要望があった。ボッチャを部活動で知っていたことが生かした。レクリエーションということだったが、勝利への作戦や工夫などはもう少しできたかもしれない。遊休農地の件について、農林振興課の提案により、5月31日に総合文化・科学部と青年農業会員で芋の苗植えを行う予定。内子町の主要産業である農業を知るよい機会になればと思っている。商品開発や販売にも興味を持つ機会も設定されている。その他、イベントとしては、地域と子供たちの対抗試合や部活動がなくなっていく場合のエンディングイベントなどを想定している。部のOBや町内で競技をしている方が集まってのラストゲームなどを企画したい。また新たな目標となる町内での大会も模索したい。総合スポーツ部や総合文化・科学部は住民の方々に向けた、自分たちが学んだことを教えるという機会を設けられたらと思っている。具体的な内容についてはこれから計画する予定である。

◆協議3 拠点校部活動について

- 委員長 拠点校の現状と検討事項5つほど説明があった。検討事項について、みなさんのご意見を伺いたい。検討事項4（次期サッカー部のチーム編成）は、子供はどのように思っているのか。
- 事務局 総体前でまだそこまで聞けていない。
- 委員長 集中力も切れますしね。検討事項1から5についてご質問などないか。
- 委員 検討事項3について、昨年からの方向性と来年のことを考えると、人数が残っているからといって単独校を残してしまうと、これまで頑張ってきたことが崩れる。このタイミングで拠点校にするのがいい。子供達の意見はまだ聞けていないが。
- 委員長 （子供たちの意見を聞くのは？）総体が終わった後ということでよいか。
- 委員 令和8年の流れを考えると残すよりまとめた方がよいと思う。
- 委員長 拠点校にしたほうがいい。ただ、子供や保護者の考えもある。
- 事務局 聞いてはないが、学校の部活動を大事にしたい考えもある。
- 委員 単独校をなくすことは、実際問題として、現在テニスコート2面に対して26人が集まる。次の年に1年生が入部すると練習場所の確保が気にかかる。顧問もそこは気にしている。現在は、2～3年生が総体の練習でコートを使用するので、1年生は日曜に自主練習をしている。土曜日は2～3年生で、日曜日は1年生でやりたいということで許可した。練習場所がないと技能は上達しない。
- 委員長 内子中学校は2面なのか。
- 委員 全部で4面ある。男女で2面ずつ使用している。
- 委員長 運動公園の使用についてはどうか。
- 委員 必要になったらそういうこともあると思うが、冬場は移動となると練習時間もなくなるのではないかと思います。
- 委員長 移動時間も余計にかかる。他に意見は？ 今結論を出さなくてもよい。総体も終わっていない。意見を伺いたい。PTAから保護者の意見はどうか。
- 委員 おそらく単独校で残るのは五十崎中学校の男子テニスだけ。それであれば、まとめたほうが後々うまくいくのではと思う。ソフトテニスのことは分からないのでコートに対する人数が多いのか分からないがまとめたほうがうまくいくように思う。
- 委員 チームとしてはまとめるが、五十崎中学校にもコートはあると思うのでそちらを使用してはどうか。上級生が内子中学校。下級生が五十崎中学校でという方法。
- 委員長 そういうやり方もあると思う。
- 委員 拠点校部活動を導入する中で、チームをまとめる方が進めやすい。部活動のよさ

を残すなら学年でばらばらにするよりは、男子が内子中学校、女子が五十崎中学校などのほうが、上級生と下級生のつながりが生まれてよいと思う。教員でない指導者が指導できる活動もあるが、教員でない指導者が運動公園で指導するというのは管理が厳しいと思う。

委員長 それぞれの部活で工夫して行うということ。検討事項4は、他と種類が違うように思う。

委員 検討事項4について情報提供をしたいと思う。合同チームを組むのは、同じ地区で組むようになる。大洲市は、大洲北中は単独でやれる。肱東中、大洲東中、長浜中は3つ集まってもチームにならない。大連合同合同チームを組むことになる。

委員長 内子町と大洲市だったらチームを組んでもよいのか。

委員 そうなる。

委員 昨年も肱東中と合同で出場した。

委員長 子供の意向が大切となる。

事務局 検討事項4について、昨年、双海中で一時的に7人になったことがある。当時の生徒に、話を聞く機会があったので伺った。双海はサッカーが盛んで、部活動指導の先生もサッカーの経験者だったり、シニアチームがあったり環境は内子と違うかもしれないが、双海中は、7人で頑張ろうと決めて新人戦に挑んだそうである。人数が少ないので厳しい結果にはなったが、得られた学びも多かったようである。ただ、これを中学生に話すとその場の雰囲気です「やる」となる可能性もあるので、人数が少ないというリスクと学びのバランスを大人が考えるところではないかと考える。

◆協議4 内子町における総合型地域クラブ活動の構想（案）について

委員長 事務局内部でもこれから詳細案を作る。ご意見を伺い、次回説明できるようにしたい。

委員 ヤフーニュースを見ていると、指導者の暴力・パワハラ・セクハラなど目にする。指導者の監督・指導は、教育委員会が担うのか。

委員長 クラブ運営団体がそういった位置付けになるのではないかと思います。教育委員会もどこまでからめられるか。

委員 何かの案内で、教員免許もっている方にオンライン研修が10,000円くらいであったと思う。今年取ったら間に合うのではと思うが、奨励してもらうことはできないのか。

事務局 その想定はなく、予算の確保はできていない。

委員長 一般の人も受けるのであればお金がかかる。行政としてどうするか考えられていない。考えることは必要。指導者の問題は本当に難しい。

アドバイザー 移行後の指導者の責任は、地域クラブになると思う。助言・支援は教育委員会や学校がということになると思うが、責任団体は、地域クラブ。そこに向けた体制づくり、地域クラブとしてどういう指導をして育てていくのか指導者に伝える必要がある。一人の指導者に負担が行かないように、複数の指導者でお互いに注意が向くような状態が良いと思う。

委員 地域クラブということは、内子町全体の地域クラブか。例えばサッカー部の地域クラブか。

事務局 地域クラブ全体のということ。それぞれの部活動が活動できるように指導者を派遣する。サッカーは単独サッカークラブという運営は難しい。

- 委員長
オブザーバー すべての部活動がクラブに参加できるか分からない。できるところから。
指導者の質はどこでも難しい。県では「外部指導者」に年3回の研修を義務付けている。各市町にアナウンスしているオンデマンド研修。これは毎年継続して行い、胸に刻んでいただいている。参加型の実技研修。県立学校、各学校でもモラル、心肺蘇生の研修をしている。そこに対して拠点校の外部指導者を呼んで教職員と同じように研修を受けてもらう。教職員と同じように子供たちに関わるのであれば、同じように研修して質を担保していく。毎年継続していく。内子町は、地域と学校が連携を取れるなら、アイデアとしてそういうこともある。
- オブザーバー 市町のお金で難しい場合、国の実証事業として費用負担もある。市町補助は今年1年で2名だけだった。指導者育成にそういうものを取得していくというのも考えられる。広報も必要。国の地域移行についての補助は、年度ごとなので、見込みながら活用する方法もある。
- 委員長
委員 何となく補足していただいて見えてきたこともある。他に質問は？
中学校3年生の進路指導をしてきた観点から、3年生の引退をきちっとけじめをつけたい。記念のラストゲームなど早目に対応してほしい。それと、大瀬、小田は人数が少なく卒業アルバムの採算が合わないので作ってもらえない。総体の活躍の様子など写真がなく、広報の方に手伝ってもらい写真をいただけないか。
- 委員長
事務局 広報は難しいのでは。
地域おこし協力隊と総体の写真を撮ってまわることになっている。子供達の活躍を伝えるPRもしていきたい。
- 委員
事務局 部活動外部指導者のちらしで募集を進めているのか。
移住者交流会で知らせた。希望があったら採用というわけではない。これからどういう効力を発揮するか分からないが、指導者確保は喫緊の課題。情報だけでもほしい。
- 委員
事務局 一番は人間性。募集したときに適正でない方が関わる恐れもあり、募集してうまくいくのか。ライフスタイルという言葉もそぐわない。愛情を持ってとあるが、愛情だけでは技術も必要。拠点校部活動の文言も違うのではないか。
- 事務局
委員長 ハードルを下げた募集になっている。関わる人を見出したい。
ハードルを下げすぎていないかということ。気を付けながら募っていく。十分に注意していく必要がある。
- 挨拶 昨年度に続きお集まりいただきありがとうございます。今週、バレーボール監督の講演会で、「夢を持って生きろ」というテーマで話していただいた。部活動は個性を伸ばす、発揮できる、子供にとって大きいものです。課題山積の中ですが、皆様のご協力をいただきたく思います。